

2016年8月25日

オートバックスは スタッドレスタイヤ購入先として支持されています！

～冬用タイヤも お客様に選ばれて2年連続 No.1～



日本能率協会総合研究所調べ
※詳しくはオートバックスホームページにて
ご確認ください



株式会社オートバックスセブン（代表取締役 社長執行役員：小林喜夫巳）は、株式会社日本能率協会総合研究所（以下、JMAR）による「スタッドレスタイヤに関する調査」において、オートバックスが昨年に続きスタッドレスタイヤ購入先として選ばれた販売店 No.1 となりましたので、お知らせします。

ここがポイント！

- 本調査は、JMAR が 2015 年より行っている調査で、本年が 2 回目となります。
- スタッドレスタイヤ購入先として、オートバックスが昨年に続き第 1 位となりました。

「スタッドレスタイヤに関する調査」は、JMARが2016年6月にスタッドレスタイヤの購入実態を把握するために行った調査で、自家用自動車を保有している全国の18歳から69歳（n=14,392）を対象に、インターネット調査で行われました。

今回の「スタッドレスタイヤに関する調査」では、スタッドレスタイヤの認知や購入経験などについて調査され、スタッドレスタイヤ購入者全体で具体的な店舗名の選択率を確認したところ、オートバックスが第1位となりました。これは2015年の調査に続いて2年連続となります。

スタッドレスタイヤとは、「スタッド＝釘」が「レス＝ない」タイヤで、1980年代に粉塵などで問題となったスパイクタイヤに代わる、積雪路や凍結路などを走行するために開発されたタイヤです。同様の商品としてはタイヤチェーンがありますが、積雪などの有無に合わせて付け外しをする手間や、積雪などの無い路面で装着したまま長時間走行した場合はチェーンが破損し、最悪の場合は車体を傷つけてしまうことがあります。スタッドレスタイヤの場合は、そのような手間やトラブルに合うことなく、冬季シーズンを通して装着したまま走行できます。なお、冬季シーズンはスタッドレスタイヤ、それ以外のシーズンは夏用タイヤに履き替えることで、スタッドレスタイヤはおおよそ3シーズン程度使用することができます。

オートバックスグループでは、本格的な降雪シーズンになる前から、豊富な品ぞろえでスタッドレスタイヤが目立つ売り場を展開し、スタッドレスタイヤの必要性や重要性について説明した掲示物を設置するなど、さまざまな施策に取り組んできました。このような取り組みの継続が、お客様から選ばれた結果であるものと考えています。

（次ページに続きます。）

調査の概要は、下記の通りです。

記

1. 調査タイトル	スタッドレスタイヤに関する調査
2. 調査会社	株式会社日本能率協会総合研究所
3. 調査対象	全国に居住する18歳から69歳で、自家用自動車を保有している人 (n=14,392)
4. 調査時期	2016年6月16日～2016年6月20日
5. 調査方法	インターネットによる調査
6. 調査結果 (概要)	<p>① スタッドレスタイヤの認知 → 14,392 サンプル …9割以上 (96.6%) がスタッドレスタイヤを認知していた。</p> <p>② スタッドレスタイヤの購入経験 → 13,900 サンプル …スタッドレスタイヤ認知者のうち、2割弱 (19.2%) が、2015年4月～2016年3月の期間にスタッドレスタイヤを購入していた。</p> <p>③ スタッドレスタイヤの購入決定への関与 → 2,662 サンプル …スタッドレスタイヤの購入にあたり、7割以上 (75.1%) が商品やお店の決定に関与している。</p> <p>④ スタッドレスタイヤの購入チャネル (具体的な店舗名) → 2,000 サンプル …具体的な店舗名の選択率を確認したところ、「オートバックス」が1位 (28.9%)、「タイヤ館」が2位 (12.0%)、「イエローハット」が3位 (10.1%) であった。</p>
7. 調査結果 (詳細)	株式会社日本能率協会研究所 ～スタッドレスタイヤに関する調査～ http://www.jmar.biz/report/2016/07/04.html

今後も『クルマのことならオートバックス』とお客様から支持・信頼される活動の実践」という当グループ方針に基づき、カー用品、車検・整備、車の買取・販売、板金・塗装など、クルマのことなら何でもご相談いただける店舗を目指します。

以上

この件に関するお問い合わせ先

【お客様からのお問い合わせ】

オートバックスお客様相談センターフリーコール：0120-454-771

受付時間：平日 9:00～12:00 13:00～17:30

【報道関係者からのお問い合わせ】

株式会社 オートバックスセブン IR・広報部 小野田 (おのだ)、鈴木 (すずき)

〒135-8717 東京都江東区豊洲 5-6-52 NBF 豊洲キャナルフロント

TEL. 03-6219-8787 FAX. 03-6219-8762

※ 上記の画像等につきましては、ホームページよりダウンロードできます。URL: <http://www.autobacs.co.jp/ja/news/index.php>